

本江地域振興会だより

～支え合い特別号～



Instagram



HONGO_COMISEN

第69号

令和7年1月

発行責任者 竹元 正治

本江コミュニティセンター ☎86-0079

第2回 本江地域課題会議を開催 R6.11.16(土)19:00～20:30

○開催趣旨 『いつまでも安心して暮らし続ける地域』を目指す地域支え合いネットワーク事業では、地域での支え合いの仕組みづくりを行っております。「地域課題会議」を開催することで地域の問題の抽出を行い、これをもとに毎年「地域づくり計画表」を作成し計画・活動、次年度への課題について話し合っています。

○参加者 以下の各種団体代表者の皆さんが会議で話し合いいただきました。ご協力ありがとうございました。

テーブル	自治会	名前	役職
1	ファシリテーター	市川 伸誠	本江地域第3層生活支援コーディネーター
	足洗新町	上山 道代	足洗新町民生児童委員
	足洗新町	宮垣 富貴子	100歳体操(足洗新町)代表
	本 江	浦元 祐子	サークル大正琴教室代表
	足洗新町	飯田 香織	サープレイ足洗温泉デイサービスセンター代表
2	ファシリテーター	竹内 明子	本江地域第3層生活支援コーディネーター
	道 番	三橋 光雄	道番自治会長
	中 新	石庭 崇宏	中新自治会長
	中 新	川崎 繁雄	中新福祉推進委員
	道 番	山田 久美子	道番・中新民生児童委員・中新福祉推進委員
	道 番	三橋 哲雄	100歳体操(道番)代表
	中 新	中村 信夫	いちにのさんぽデイサービス施設代表
3	ファシリテーター	辻 宏和	新湊東地域包括支援センター (第2層生活支援コーディネーター)
	針 山	竹元 正治	本江地域振興会会長・針山自治会長
	針 山	岩瀬 妙子	本江地区ボランティア協議会会長
	針 山	根井 好子	針山民生児童委員
	針 山	赤井 得郎	針山福祉推進委員
	針 山	宮川 清之	福祉推進委員(全体)
4	ファシリテーター	三澤 幸雄	本江地域第3層生活支援コーディネーター
	足 洗	田辺 康弘	足洗自治会長
	足 洗	多賀 良美	本江コミュニティセンター長
	足 洗	南 晴久	本江地区スポーツ協会会長・射北中学校 PTA 本江地区長
	針 山	西野 加絵	東明小学校 PTA 本江地区委員長
5	ファシリテーター	宮垣 純吉	本江地域第3層生活支援コーディネーター
	本 江	宮垣 敏秀	本江自治会長・男の料理教室代表
	本 江	大森 秀子	本江民生児童委員
	本 江	田辺 誠	本江福祉推進委員
	本 江	石葉 喜八郎	100歳体操(本江)代表・サークル本江書道教室代表
	本 江	石葉 昭子	サークル本江うたわんまいけ代表

司会進行 網谷 和夫 (本江地域第三層生活支援コーディネーター)

総評 小林 法子(射水市地域福祉課第1層生活支援コーディネーター)

協力 花房 志保 (本江地区男女共同参画推進委員)

※ファシリテーターとは、各テーブルにて話し合いの進行をする人のことです。



本江地域振興会長 竹元 正治氏



本江地域第3層生活支援コーディネーター
網谷 和夫



本江地域第3層生活支援コーディネーター
市川伸誠 竹内明子 三澤幸雄 宮垣純吉



第2層生活支援コーディネーター↑
辻 宏和氏



←第1層生活支援コーディネーター
小林 法子氏



○スローガン 『仲間づくり～仲間10人を目指そう～』

昨年1月1日に発生した能登半島地震では、津波警報の恐怖の中、どう避難するかパニックになった方もおられたのではないのでしょうか。今回の地震で地域に大きな課題を残しました。

本江地域支え合いネットワーク事業では、災害など緊急時に助け合える関係を気づくことが必要と考えました。直接的な仲間づくりの他に、

- ① 地域の関わりの拡大を目指す
- ② 防災などの助け合える関係・環境づくり
- ③ 住みよいまちづくり

の3つの思いが込められています。文章は仲間10人ですが、

気持ちは100人です！



このスローガンをもとに「困っていること」、「工夫していること」、「どうしたらよいか?」を話し合っていました。

○話し合われた結果

	近所単位(自宅周り・班単位)	地域単位(自治会・本江地域全体)
困っていること	名前と顔が一致しない、必要以上に関われない。	集まりの人数減少、高齢化、新しい方が入らない、男性が少ない。
	近所に高齢者がいるか、歩行できるか等状況が分からない。	遊具が壊れて危ない。街灯少なく怖い。
	外国人世帯のコミュニケーションが難しい(日本人でも)。	サープレイの看板がいたずらされた。
	隣接する空き地の木の伐採や草刈りが大変。(空き地の増加)	公共交通の理解がされていない・不便。(特にのるーと)
	個人が自己中心となり地域活動が不活発である。	役員のなり手がいない、役員の役割内容を知らない。
	井戸端会議による情報共有が減少。	役員の高齢化。
	徘徊者のフォローができていない。	高齢者が多く、子供が少ない。
		旧町と新町との年齢の格差がある。
		行事の出席が悪い。
工夫していること	挨拶する、声掛けする。近況を知る。	5つの地区が距離的に離れているのでまとまり感に欠ける。
	とくし丸の買い物で集まり、近所の様子を知るようにしている。	交流の場が遠く歩いていけない。
	自治会役員で対策を検討する。	自治会に未加入の家の対応が難しい。
	外国人世帯に赴き、話し合いしている。	自治会のメリットを感じない人が一定程度ある。
	空き家でも許可をもらい野菜作りなどをして気にかけている。	
	外国人世帯と交流するときは日本語が話せる子供を通じている。	
	散歩中等、外国人に挨拶するようにしている。	
	挨拶をする。配りものの時声がけをしている。	
どうしたらよいか?	活動に参加し、楽しむ。	活動に参加を声掛ける。参加する。
	外国人世帯と気軽に挨拶するようにする。	サープレイで防犯カメラ設置(施設と地域の防犯)
	ゴミ出し・行事案内等、外国人の母国語で作成してほしい。	危険な個所のチェック、情報収集をしている。
	班で年1回顔合わせをしている。	回覧による情報提供を多くしてもらっていると思う。
	班ごとに公民館掃除をしている。	ボッチャ交流会が楽しかった。
		日程を調整しできるだけ、行事に参加している。
		自治会加入の声掛けをした。
		まいけふれあいサロンでは若い人に運営を譲った。
		ウエルシアの地域の利用率を上げるようにしている。
	活動に参加し、楽しむ。	交通安全・防犯、遊具等定期巡回実施・強化・役員増員。
	外国人世帯と気軽に挨拶するようにする。	多くの人が参加できる行事の提案。(フリーマーケット、ウォーキング、地域の歴史、郷土料理会等)
	ゴミ出し・行事案内等、外国人の母国語で作成してほしい。	公共交通の使い方をわかりやすくする。試乗会・説明会の実施。
	班で年1回顔合わせをしている。	地域おこしのスペシャリストを派遣してもらう。
	班ごとに公民館掃除をしている。	行事、イベント、趣味の集まりを増やし、仲間を増やす。
		福祉関係の役員もたまに100歳体操など参加してほしい。
		自治会でも集まりの周知、声掛けの継続。
		自治会に加入するメリットを伝える。
		子供向けの行事を増やし、地域への愛着心をつける。
		獅子舞の維持・協力。

仲間づくりだけでなく、色々な意見が出ました。

近所単位(自宅周り・班単位)では、近所の付き合いが気薄になり状況を知ることができずどう支援したらいいかわからない等の意見が出ましたが、逆に声掛けし自治会活動への参加を促す意見もあげられました。また、自治会内で対策検討しているという意見も出ました。外国人に対しては、挨拶・声掛けをするようにしているという方もおられました。班ごとの活動を進めている自治会も見られ、近所同士の活動はとてもよい方法と思いました。

地域単位(自治会・本江地域全体)では、「集まりの人数減少、高齢化、新しい方が入らない、男性が少ない。」というのは、仲間づくりの大きな課題になっていました。各種団体の現状も同じような課題になっています。行事の参加は、仲間づくりのきっかけになりますし、各種団体の活動(自治会の活動)を知ることができるのでぜひ参加していただきたいです。来年度は、各種団体同士も協力した企画の提案をして、いろんな人が関わる形にしていけたらと思います。

仲間同士、近所同士をもっと知ることで困りごとに対して、助け助けられる関係を作っていくことで地域の力にしていきたいですね。

そして、公共交通の分かりにくさも問題としてあげられました。特に新しく始まった「のるーと射水」はまだ使い方が分からないとの声が多く、使い方の講習や試乗体験会の必要性を感じました。